

まるごと!西日本



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oisca@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

第 642 号
平成 29 年 2 月号付録



ご協力ありがとうございます!

(平成29年1月7日~1月28日、敬称略)

寄付金: JR 鉄道営業(株)、九電ユニオン、(有)マキイ、西日本鉄道(株)、九州電力(株)、(株)博多ステーションビル、JR 九州コンサルタンツ、三島岩登、佐賀県有明海漁業協同組合、(一社)佐賀県建設業協会、(株)柿右衛門窯、佐賀県農業共同組合中央会、脇山公民館、高取公民館、合資会社今右衛門、福岡県立早良高等学校、八幡西区教育賛助会・研究会、(特活)らいふステージ、(株)九電工、(有)トリニティ、(株)池田冷熱工業
寄付品: 高江マリ子、白井絢子、石井玲子、榮洋輔、比護美由紀、(株)ドミックスコーポレーション、原田理恵、福岡リパティライオンズクラブ、フリースクール玄海、党千絵、福岡県立早良高等学校

鬼木大明神の今月の一句

忙しいことが幸せなのだ!
多忙なことが至福の喜びなのだ!
仕事が楽しみならば人生は楽園だ!
もし仕事を業務と思えば人生は地獄になってしまう!!



Cross Road ~情報交差点~

2月の予定

- 1日(水) 朝倉光陽高校交流会
- 2日(木) 日田里山づくり作業
- 3日(金) FBS 頑張るキミに花束を! 第5弾放送予定
- 4日(土) 佐賀料理交流会
- 8日(水) 玉名農業振興様来所
- 17日(金) 早良小学校研修生派遣授業
- 18日(土) 第8回 We Love オイスカゴルフコンペ
- 19日(日) ソフトボール大会 於:早良高校 脇山公民館研修生お別れ会
- 25日(土) 平成28年度海外研修生修了式

アメリナの私に言わせて!

農業研修生の帰国が近くなりました。1月25日、皆を支えてくれたお兄さん、先輩が先に帰って残った後輩が少し寂しくなったと思います。センターに残った研修生も帰国の日がもう迫ってきましたのもっともっと仲良くなると思います。皆の絆がとても強くなったので離れるのが寂しくなります。彼ら達はこれからも思い出の日々を作ると思います。皆さん、最後まで応援よろしくをお願いします。

短期外部研修

1年の研修も終盤に差し掛かり普段の実習、講義に加え帰国後のアクションプランの作成など行っています。その中でそれぞれ希望により短期外部研修を実施しました。農業機械研修では、東峰村のハートフィールドさかもと様で2名の研修生がお世話になりました。宝珠山きのこ生産組合様、八江農芸様(長崎)など、2月中旬まで行われます。ご指導頂きました皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(彦坂)

2年間の研修を終えて (国際ボランティアコース)

1月24日に2年間の研修を終えました。最初日本に来た時は大変だと感じることもあったけど、ここでの経験すべてが自分を強くしてくれたと思います。2年間、オイスカのことや、したこともなかった農業のことたくさん学びました。そして、たくさん大切な友達ができました。本当に幸せな2年間をありがとうございました。必ずまたいつか帰ってきます。そして、いつでもインドネシアで待っています。また会える日を楽しみにしています。(ディマス)



神の鳥 エミュー

突然ですが皆さんは、エミューという鳥をご存知ですか?エミューはオーストラリア固有の鳥で約8000万年前から生息している古代鳥類です。ダチョウに似た大型鳥で、ダチョウに次いで世界で2番目に大きい鳥です。そんなエミューが、オイスカ西日本研修センターで約50羽飼育されています。11月~4月の間はエミューの産卵時期なので、今センターにお越し頂ければ、卵も見られるかもしれませんね。因みに現在オイスカでの産卵数は17個(1月26日時点)です。

(日本エコシステム株式会社 オイスカエミュー担当 堀)



→これがエミューの卵! 緑の大きい卵です。

研修生の『お正月』ホームステイ

皆様お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか?研修生13名は12月31日~1月2日までホームステイをさせて頂きました。今年のお正月はお天気も良く、初日の出を見たり、初詣に連れて行ってもらったり各ご家庭でお腹いっぱい『大晦日・お正月』を堪能させていただきました。暖かい国のお正月とは趣も形式も違い研修生にとって貴重な経験になりました。新年を温かいホストファミリーの皆様と迎えることができ、新たな一年の良いスタートがきれました。お忙しい中受け入れていただきましたホストファミリーの皆様ま、ありがとうございました。(彦坂美保)



九州電力(株) ワンコイン贈呈式

今回で5回目を迎える「オイスカ海外研修生をサポートするワンコイン・サポート・プログラム」に今年も九州電力(株)の社員の皆様(約4600名)の賛同を頂き、2400万円の募金を頂きました。1月12日、同社を代表して橋本上(のぼる)地域共生本部総務部長が来所され寄付金の贈呈式が行われました。橋本総務部長より「残り少ない研修期間、時間を大切に多くの事を学び取って下さい。多くの社員が応援します。」との挨拶を頂きました。本プログラムの寄付は研修生育成費に有効活用させていただきます。ありがとうございました。(廣瀬)



ワンコインサポーターの皆様、ありがとうございました。

脇山ほんげんきょう(どんど焼き)



脇山地区での今年初めての行事『ほんげんきょう』が1月9日に脇山中央公園で行われました。2日ほど前から準備された青竹の束に当日各家々から門松やしめ縄かざりなどが持ち寄られました。当日はいい天気になりましたが、前日に雨が降ってかなり湿っていたこともあり火がすぐにはつかなかったのが残念でした。それでも温かいおしるこも頂き研修生にとっては初めての体験でまた一つ日本でのいい思い出ができました。ありがとうございました。(彦坂)

福岡市消防出初式

1月7日、福岡マリンメッセで行われた福岡市消防出初式を観に行きました。式典、博多湾への一斉放水、レスキュー隊の救助訓練など内容盛りだくさんで日本人消防士の人命救助への熱い姿を目の前で見ることができました。命がけで救助して下さる方たちがいることを再確認したと同時に今年は大きな災害が起こらないことを願いました。(榮)

→一斉放水の様子→



マレーシア出張報告

平成28年12月2日～6日にかけて、50周年記念に向けたOB活動調査のため、マレーシア・サバ州を訪問してきました。4日間という短い期間でしたが、オイスカテノム研修センターで活躍しているOB研修生へのインタビューをはじめ、各地域において農業分野で活躍しているOB、または現在ツアーガイドとして働く傍らでゴム農園を営んでいるOBなどから話を聞く機会にも恵まれ、大変充実した調査を実施する事が出来ました。特に、3年前の西日本OB研修生のクリスのプロジェクトを訪問した時には、アクションプランとして帰国前に発表していた内容をすべて実現しており、彼女のやる気満々の姿に圧倒されました。そして、現状にとどまらずに次の目標に向かって努力をしているという話を聞いて、本当に頼もしい限りでした。彼女のこれからの活躍を大いに期待したいと思います。今回の調査で実感したことは、私は20年前にもマレーシア・サバ州を訪問したのですが、都心部は、当時の面影は全くないくらい目まぐるしい発展を遂げており、農業の環境や事情も大きく変化をしていました。

国内の研修センターで彼ら研修生を指導するためには、彼ら研修生の国の現状を把握したうえで指導を進める事が大切です。昔の情報のみを頼りに指導をしないで現状をしっかりと共有する事に努めていきたいと思います。(豊田)



↑コタキナバルにてOB研修生との食事会



↑OB研修生クリスの菌床きこ栽培の様子

飯倉中央小学校餅つき会

1月15日、飯倉中央小学校で行われた餅つき会に参加しました。小学生たちや先生たちと一緒にしました。私たち研修生は12月にたくさん餅つきをしたので、今バッチリのコンビネーションで速くつくことができます。だからみんな私たちを見てとても驚いていました。餅つき後はみんなと一緒に美味しい餅を食べました。交流もたくさんできて、また新しい友達ができました。とても楽しい1日でした。12月からいろいろな場所でした餅つきは忘れられない思い出です。きっとフィジーに帰っても思い出すと思います。みなさんありがとうございました。(ルケ)

→少年野球チームの皆さんと



頑張っています！多国籍ソフトボール部

昨年12月に撮影が行われた「航空自衛隊の皆さんと練習試合編」が2月3日(金)19:00から放送される事が決まりました。今回も楽しい内容になっていますので、皆さん是非ご覧になって下さい。そして、今年に入ってから撮影は継続しており、1月21日(土)には添田町に拠点を構えている山口屋福太郎「めんべいチーム」を訪問し、女子ソフトボールの選手



の皆さんからマンツーマンで指導を受けてきました。練習は午前中で終了しましたが、昼食は研修生の料理を振る舞いながらダンスや歌を披露して交流を深める事ができました。2月19日の大会に向けて気合を入れて練習に励んでいきますので、皆さん応援宜しくお願い致します。(豊田)

体験農園だより

まだまだ厳しい寒が続いていますが、オイスカの育苗ハウスではトマトやナスの苗がすくすくと育っています。野菜の種をまいてから芽が出るまでには、一定の温度が確保されないと出てきません。オイスカの育苗ハウスでは、種をまいたトレーの下に電熱線という熱が出る線を張り巡らせ、トレーの上には毛布やビニールをかけ、そしてトンネルにビニールと温かいシートをかけて、芽が出るまで管理をします。だいたいこれで20度ぐらいの温度が保たれ、4～5日で芽が出てきます。寒い時期の苗づくりは管理が大変ですが、4月上旬にはビニールハウスにトマトの苗が植えられ、6月には赤いトマトの実をつける事でしょう。今年もオイスカ農園に豊かな実りがあるように、研修生と一緒に頑張っていきます。(豊田)

→ナスの播種の様子



技能実習生3名帰国

平成26年1月に入国してから3年間、日本語の研修を終了した後、朝倉市にある瓦葺業「本石産業」にて屋根工事、瓦葺の実習を行ってきたインドネシア技能実習生シュクル、チョクロが、1月25日に無事帰国致しました。本石産業での実習期間中は、地域の方とも積極的に交流をはかり、実習も熱心に取り組んでいたため、社長さんや社員の方からも厚い信頼を寄せていただき、技術的にも精神的にも大きく成長する事が出来ました。帰国後は、日本での経験を活かしながら建設関係の仕事についたり、オイスカ活動にも積極的に関わっていきたく、将来の目標を熱く語っていました。また、同じ技能実習生で日田市の酪農家で実習を行っていたフィリピン実習生のノイも、一足早い1月10日に帰国致しました。彼らのこれからの母国での活躍を大いに期待したいと思います。(豊田)

頑張っね！→



インドネシア料理交流会

1月28日(土)、田隈人權まちづくり館にてインドネシア料理交流会が行われました。センターからはインドネシア研修生のヘリとレスカが講師として参加しました。生徒さんは15人で一緒になってナシゴレン、バクソ、ガドガドサラダを作りました。料理を囲みながら談笑をして、最後にインドネシアの紹介をしました。参加者からは料理がおいしいや家でも作りたいという声や、研修生へ激励の言葉も頂きました。(安東)



世界の絵本読み聞かせ会

1月28日(土)、高取公民館で小学生を対象に行われた世界の絵本読み聞かせ会にフィリピン研修生のシュガーとインドネシアスタッフのスヤディが参加し、各国の紹介と各国の言葉で絵本の読み聞かせをしました。参加した子どもと保護者は絵を見て想像を膨らませながら、日本とは違った絵本に引き込まれていました。最後はインドネシアのゲームやフィリピンのダンスで盛り上がりました。(榮)

